

ツール 20：ビジュアル・リマインダー

このツールの目的

情報やアイデアを、秩序だった創造的な方法で視覚化する。

このツールを使うタイミング

すべてのフェーズで、グループワークあるいは個人での検討の一環として使用することができる。

ビジュアル・リマインダーとは

ビジュアル・リマインダーとは、複雑な問題を理解しコミュニケーションするための、フレームワークや図表、イラスト等の総称だ。このツールは、多くの場合、自分自身の考えを明確化する際や、何を議論し合意しようとしているかについてグループメンバーが簡単に理解できるようにするために使われる。

以下で、ビジュアル・リマインダーの例をいくつか紹介する：

マインドマップ

よく知られており、簡単な視覚化ツールがマインドマップだ。マインドマップは、情報やアイデアを秩序だった形で視覚化する際に役立つ。



出典：Learning Fundamentals 提供のイメージ

ブレインスケッチング

ブレインスケッチングは、問題解決のために使用するツールだ。このツールを使おうとする場合、以下のようなステップで行う：

- 1：4～8人のグループを作り、テーブルの周りに座るか、椅子を車座に並べて座る。各自の周りに一定の空間ができるよう、十分離れて座ることが必要だ。問題についてのステートメントについて合意し、皆が理解するまで議論する。
- 2：参加者はそれぞれ、個人ワークとして、どうすれば問題が解決できるかについての1つまたは複数のスケッチを描く（1枚の用紙に1枚のスケッチ）。描き終わったら、右側に座る人にスケッチを1枚ずつ渡していく。ファシリテーターは、スケッチを描くのに5分程度以上かけないように伝えること。
- 3：参加者は渡されたスケッチを手に取り、そのスケッチにさらに書き加えたり、注釈を付けたりするか、そ

のスケッチから思いついた新たなスケッチを自分で描き、描き終わった修正後のオリジナルスケッチまたは新たなスケッチを隣の人に渡す。

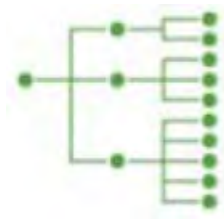
4：適当な時間、あるいはメンバーが疲れてくるまでこのプロセスを繰り返した後、スケッチを回収する。

5：スケッチを回収後、それを貼り出し、明確化を行ったり、コメントを得るために議論する。

(以下のサイトに基づくステップ：<http://www.mycoted.com/BrainSketching>)

樹形図

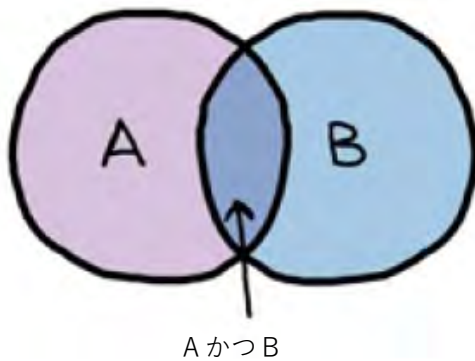
樹形図は、問題や課題、テーマをブレイクダウンするのに使うことができる。樹形図には、以下のようにさまざまなスタイルがある：階層を視覚化するためのもの、可能な意思決定とそれがもたらす結果を特定するためのもの、等。樹形図は水平に伸びるもの、垂直に伸びるもの、多方向に伸びるもの、放射状に伸びるもの、双曲線状に伸びるものなどがあり、比喩的に用いることができる。比喩的な樹形図は、たとえば、インプットを樹木の根で視覚化し、プロセスの結果を樹木の葉で視覚化することができる。



ベン図

ベン図は、互いに重なり合う円を用い、近似性や違い、グループ同士の関係性を描くものだ。円の重なり合う部分は、グループ同士の近似性を表し、重なり合わない部分は、グループ間の違いを表す。

ベン図



出典：Artisanmn.com

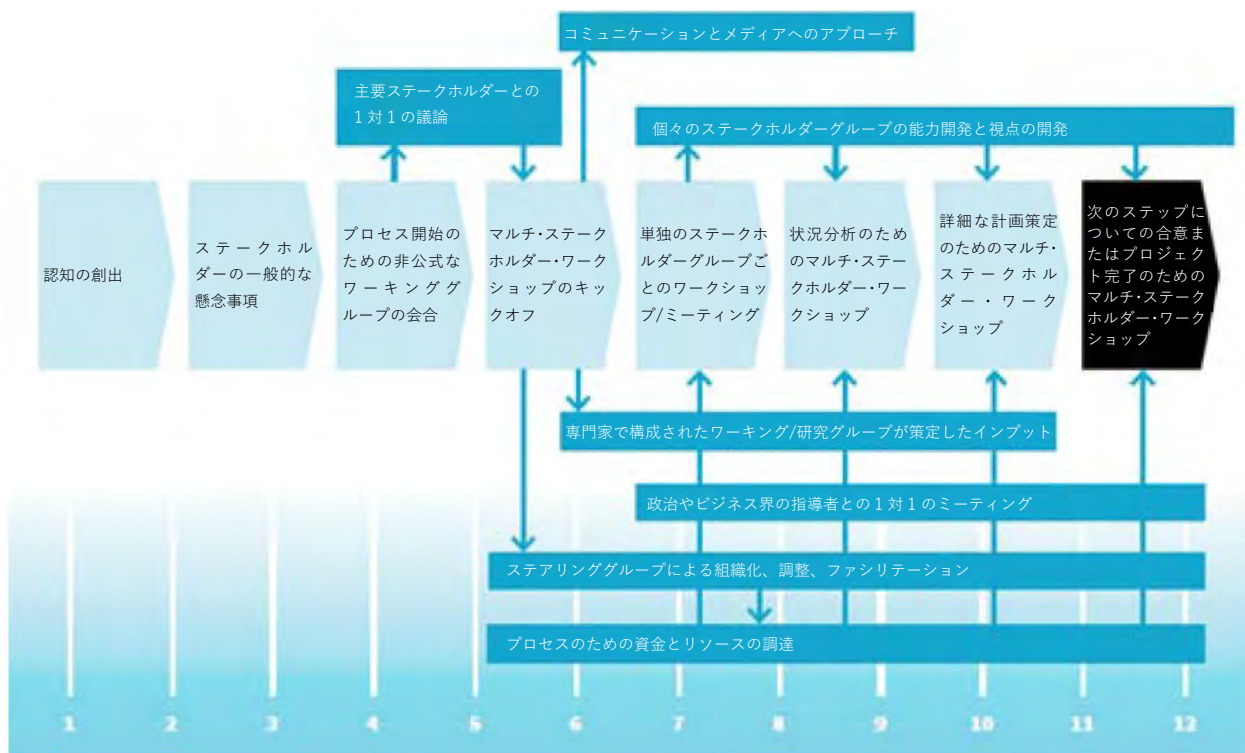
フローチャート

フローチャートとは、記号を用いてプロセスや複雑なタスクを視覚化するための図だ。

フローチャートを使用するためのステップは以下の通り：

1. 分析するプロセスまたはタスクを特定する。
2. 開始地点と終了地点を決定する。
3. 開始地点と終了地点の間に、必要なステップを書き入れる。各ステップにはさまざまな記号を用いる。

4. 各ステップと次のステップを矢印でつなぎ、プロセスが完全に図式化されるまで続ける。
5. プロセスのフローチャートを分析し、必要に応じ、修正する。



フローチャートの例。MSPガイド（41ページ）からの抜粋：想像上のMSPの1年間のタイムライン。時間の区切りは1か月単位。

2×2マトリクス

2×2マトリクスは意思決定支援ツールで、定性的なデータを分析する際に用いることができる。ある問題を取り上げ、その問題にとって重要な2つの変数によりマッピングする。2軸の選び方は、たとえば最も望ましい特性のデータは左上の象限にマッピングし、最も望ましくない特性のデータは右下の象限にマッピングするという風に行う。

一般論としては、2×2マトリクスは、2つのシンプルな変数に分けられる物事を分類するのに有用なツールだ。特に、定量的情報が手に入らず、定性的に判断を行わなければならない際に役立つものとなる。

このツールを用いることで、時間をかけずに情報を4つのカテゴリーに集める（あるいは分ける）ことが可能になる。この4カテゴリーは、そのアクティビティの目的に合わせて定義することができる。グループによる2×2マトリクス作成は、共通理解を視覚的に構築したり、あるテーマについて合意するのに特に役立つ。



さらに知りたい方は：

Periodic Table of Visualization Methods

より深く知りたいなら、このウェブサイトをまず見てみるとよい。このサイトは、さまざまな視覚的手法を以下の6つのカテゴリーに分けて紹介している：データ視覚化ツール、情報視覚化ツール、コンセプト視覚化ツール、戦略視覚化ツール、比喻を用いた視覚化ツール、複合的視覚化ツール。Periodic Table of Visualization Methodsへは [こちら](#) をクリック。

ベン図：<https://support.office.com/en-sg/article/Create-a-Venn-diagram-d746a2ceed61-47a7-93fe-7c101940839d>

樹形図：

M. Lima (2014) 'The book of trees: Visualizing branches of knowledge'. Princeton Architectural Press, New York www.bookoftrees.info/bt/

A Toolbook for Quality Improvement and Problem Solving- Tree diagram
www.syque.com/quality_tools/toolbook/Tree/example.htm

フローチャート：<http://najeraconsulting.com/tuesdays-tool-of-the-trade-the-flowchart/>

さまざまな視覚化ツール：http://www.mycoted.com/Main_Page